

## 平成26年度における美里町財政健全化の取組について

町では、平成24年12月に、財政運営の指針とする「第2次財政健全化計画」(平成25年度から平成27年度まで)を策定しました。計画年次の2年目に当たる平成26年度の財政健全化の取組状況について、その概要をお知らせします。

### 1 財政指標等について(一般会計)

財政指標は、各年度の決算額を基に計算され、各年度の町の財政状況を表しています。

実質公債費比率及び将来負担比率については、平成25年度決算に比べ減少しました。しかし、経常収支比率については、2.4ポイント増加し財政の硬直化が進んでいます。町税の収納率は年々上昇していますが、平成26年度も前年度から1.4ポイント増加しました。また、基金積立金残高は前年度と比較して9,180万円増の35億9,442万円、借入金に当たる地方債残高は前年度と比較して5億7,429万円減の131億254万円となりました。いずれも、第2次財政健全化計画で設定した目標値を達成しています。

指標等の名称	平成26年度決算数値	平成25年度決算数値	財政健全化計画の目標値
実質公債費比率	12.8%	14.3%	15%以下
将来負担比率	71.4%	75.2%	85%以下
経常収支比率	90.2%	87.8%	85%以下
町税の収納率	95.1%	93.7%	
基金積立金残高	35億9,442万円 うち財政調整基金(14億613万円)	35億262万円 うち財政調整基金(13億7,696万円)	総額30億円を維持
地方債残高	131億254万円	136億7,683万円	131億6,400万円以下

)平成26年度および平成25年度決算数値は、決算統計の数値です。

)財政健全化計画の目標値は、第2次財政健全化計画で定めた平成27年度決算までの目標数値です。

)財政調整基金とは財源が不足した年度に使用する地方公共団体の貯金のことです。

### 2 平成26年度決算額と財政健全化計画(目標値)の比較

平成26年度決算額と財政健全化計画の目標値を比較すると別表のようになります。

歳入については、町税が町民税の伸びと収納率の上昇から目標値を2億円上回りました。しかし、町税が増えた一方では地方交付税と臨時財政対策債が減収となりました。国庫支出金については目標値を下回ったものの、県支出金については、太陽光発電設備設置事業や緊急雇用創出事業等の県補助金によって目標値を大きく上回りました。町の借入金に当たる地方債については、計画より低い金額に借入れを抑えることができました。

歳出については、人件費、物件費、維持補修費、扶助費、積立金、建設事業費及び災害復旧費で計画の目標値を上回りました。今後、合併市町村の財政上の特例措置が終了することから、町の歳入の多くを占めている地方交付税が減少していきます。財源確保に努めるとともに、歳入に見合った歳出(事業費)の見直しを進めていかなければなりません。

(別表) 平成26年度決算額と財政健全化計画の比較(単位:千円)

区 分		平成26年度 財政健全化の目標値 ①	平成26年度決算額 (繰越分を含む。)	決算額と計画目標値 との比較 (-①)
歳入	1. 町税	2,316,000	2,564,924	248,924
	2. 地方譲与税・交付金	440,934	460,988	20,054
	3. 地方交付税	4,103,865	4,060,908	42,957
	4. 分担金・負担金	7,212	29,927	22,715
	5. 使用料・手数料	179,700	187,947	8,247
	6. 国庫支出金	899,803	655,345	244,458
	7. 県支出金	436,825	979,124	542,299
	8. 財産収入・寄附金	13,186	45,068	31,882
	9. 繰入金	164,628	311,856	147,228
	10. 諸収入	141,071	212,376	71,305
	11. 繰越金	0	164,263	164,263
	12. 地方債	1,038,600	733,000	305,600
		うち臨時財政対策債	512,000	430,000
	うち合併特例債	324,300	282,100	42,200
歳入総額(A)		9,741,824	10,405,726	663,902
歳出	1. 人件費	1,816,000	1,915,662	99,662
	2. 物件費	1,306,000	1,496,693	190,693
	3. 維持補修費	97,422	227,552	130,130
	4. 扶助費	952,383	1,156,681	204,298
	5. 補助費等	1,547,351	1,709,953	162,602
	6. 公債費	1,501,710	1,477,756	23,954
	7. 積立金	228,679	268,661	39,982
	8. 投資・出資・貸付金	163,946	72,459	91,487
	9. 繰出金	1,173,885	1,080,747	93,138
	10. 建設事業費	754,000	796,058	42,058
	11. 災害復旧費	0	10,140	10,140
	12. 失業対策費	0	0	0
歳出総額(B)		9,541,376	10,212,362	670,986
次年度に繰越すべき財源(C)		0	71,437	71,437
実質収支(D) = (A) - (B) - (C)		200,448	121,927	78,521
地方債残高		13,348,073	13,102,540	245,533

平成26年度決算額は、決算統計の数値です。

歳入の「」は、目標値を達成できなかったものを表しています。

繰入金は基金(貯金)取崩し、地方債は借入金のため、少ない方がよいことになります。

歳出の「」は目標値を達成したものを表しています。

積立金については、各種基金への積立であり、将来に備えての貯蓄分となります。